

【フリートーク:第20回国分寺市環境シンポジウムテーマ:生物多様性について】

第20回国分寺市環境シンポジウムが開催されるにあたり、2月16日の「環境ひろば」のフリートークでは、佐藤留美(さとう るみ)さんによる基調講演の講演資料(抜粋版)をもとに、事前学習を行いました。

今回のシンポジウムのテーマは、「～東京の緑の骨格軸～『国分寺崖線』をめぐる生物多様性向上の取組み」です。環境ひろばでは、講演資料に記載されていた二つのキーワードを中心に議論が展開されました。

一つ目のキーワードは、「自然共生サイト」です。これは、「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」と定義され、企業や団体、個人が申請し、環境省が審査・認定する制度です。国分寺市内では、日立製作所中央研究所内の「国分寺サイト 協創の森」が登録されています。フリートークでは、「自然共生サイト」に対する認知度が低く、多くの質問が出ました。「公的な保護区域だけでなく、民間の努力も評価し、共に生物多様性の保全を進めることが目的であり、登録されることで活動の社会的認知が高まる」との説明が事務局からありました。

二つ目のキーワードは、「グリーンインフラ」です。これは、「自然の力を活用し、災害対策や都市の課題解決を図る考え方」であり、単なる環境保全ではなく、自然を社会の基盤(インフラ)として活用する視点が特徴です。国や東京都レベルの施策は抽象的に感じられる一方、市民や地域単位でどのように取り組めるかについて、次のような意見が出ました。

- ・個別の雨水浸透ますの設置に加え、庭全体を「レインガーデン」化する取組を進める。
- ・住宅の駐車場を透水性のある素材にすることで、雨水の地中浸透を促進する。
- ・野川の改修にグリーンインフラの考え方を取り入れるべきだが、具体的に何ができるのか検討するべき。



国分寺市内で実施した親子向け生きもの観察会



国分寺市内で発見されたハグロトンボ

最後に、事務局より、令和7年3月に策定が予定されている「国分寺市生物多様性地域戦略」について説明がありました。

現在の国分寺市は、宅地開発や都市化による「みどりの量・質の低下」、さらに次世代アンケートから見てきた「若年層の認知度・関心の低さ」が課題であり、これを踏まえた戦略の柱が構成されているとのことでした。

今後、行政だけでなく、市民一人ひとりがどのようにに関わり、具体的な行動に落とし込んでいくかが問われています。

【第 20 回国分寺市環境シンポジウムを開催しました】

令和 7 年 3 月 1 日(土)、第 20 回国分寺市環境シンポジウムを開催しました。当日は、会場参加者 78 名、オンライン参加者 18 名と、多くの方々にご参加いただきました。本シンポジウムでは、「生物多様性」をテーマに、NPO 法人 Green Connection TOKYO 代表の佐藤 留美さんによる基調講演と、リオン株式会社の大橋 勇貴(おおはし ゆうき)さんによる事例紹介が行われました。

基調講演の前に、国分寺市より、市の生物多様性の保全の取組についての現状や策定が予定されている「国分寺市生物多様性地域戦略(案)」について説明を行いました。都市化が進む中、緑地の減少や外来種の拡大が課題となっており、今後は地域と連携しながらエコロジカルネットワークの形成を進めることを説明しました。

つづいて、NPO 法人 Green Connection TOKYO の代表理事であり、環境省や国土交通省の委員も務める佐藤さんより、「国分寺崖線をめぐる生物多様性向上の取組み」について基調講演を行いました。佐藤さんの講演では、国分寺崖線の重要性を説明し、「自然共生サイト」の認定や都立武蔵国分寺公園でのパークレンジャーの取組など、持続可能な保全のための取り組みを紹介していただきました。



基調講演



登壇者の皆様

最後に、リオン株式会社の大橋さんより、同社の生物多様性保全活動についてご紹介いただきました。都立武蔵国分寺公園の「武蔵の池」や都立狭山公園の「宅部池」で実施した水質調査を通じ、プランクトンの変動や都市水環境の保全の必要性についてのご説明がありました。また、「親子で学ぶプランクトン観察会」を通じた環境教育の取組も紹介いただきました。

質疑応答では、参加者から多くの質問が寄せられ、盛況のうちに終了しました。

ご登壇いただいた皆様、ご参加いただいた皆様に感謝申し上げます。(事務局)

環境ひろばのお知らせ

4月20日(日)午前10時～正午 市役所 会議室201(泉町2-2-18)

『環境ひろば』は、環境(保全、回復、創造)について市民・事業者・市が自由に意見交換を行う場です。皆様のご参加をお待ちしています。

(あしがき)

最近「生物多様性」が重要なキーワードとなっています。一見、緑豊かに見える山の森や都会の樹林地でも、「生物多様性」の視点で見ると、決して豊かでない場合があります。自然の質が見えてくるのです。自然に任せるのではなく、人の適切な管理によって、豊かに保たれる場合があることを教えてください。(大野)

国分寺市環境ひろば

事務局

国分寺市 まちづくり部 まちづくり計画課
〒185-8501 国分寺市泉町 2-2-18

TEL:042-312-8663(直通)

FAX:042-325-1380

Eメール:machikeikaku@city.kokubunji.tokyo.jp